

次世代に信頼と夢をつなごう

第15回役員会開催報告

Radixの会事務局長 竹内 周

1月23日、東京虎ノ門らでいっしょぼーや本社にて、Radixの会第15回の役員会が開催されました。2月を年度末とする会期を前に、承認された2002年度の予算実績見込み、当該年度の総括ならびに2003年度の活動方針を報告します。

Report

■本年度予算実績報告
(見込み)

2002年度の当会の予算実績見込みについて、以下のとおり報告します。(年間実績数値は、2002年12月、2003年1月、2月を推計値で算出した見込み数値)

【収入の部】

今年度は60,000千円を上限とした収入見込みに対し、会員会費が増大し、特別会員会費シェアが28.7%から22.2%へと大幅に低減される見込みです。

- ① 会員会費：前年実績(42,789千円)に対し、46,474千円(115%増)と見込み、ほぼ予定通りの46,468千円となる見込み。
- ② 特別会員会費：前年実績(17,221千円)の79%の13,526千円を見込み、予定を下回り、13,342千円で落ち着く見込みです。

【支出の部】

事業活動費、運営経費合わせて、当期は予算上75,988千円の支出を見込んでいましたが、支出実績は59,730千円と、差し引き16,528千円の未達となりました。予算未達の活動部門は事業活動費であり、その内訳は農産(▲1,231)、畜産(▲4,725)、食品(▲3,277)、交流(▲1,763)、そして事務局活動(▲5,034)です。未達の企画項目は以下の通りです……。

農産部会94%：ほぼ予算通りの達成状況です。**畜産部会45%**：上期各分科会を開催し進んだものの、下期より研究調査の部門で栄養分析、自給率向上試験が再検討に入ったこと、研究委託先の鈴木敦氏の調査活動を終了したことなど。各種助成枠が十分に機能しなかったことなどにより

ます。**食品部会51%**：カテゴリー集会を中心に新しい交流が進展したものの、下期より開始された栄養分析助成は利用率が低い状況です。第3回製造管理技術講習会、非食品・石鹼関連の分析調査企画が2月中に実施される見込みです。水産ネットワークは端緒に着いたばかり、という段階です。**交流部会73%**：ツアー、イベント、海外視察等ほぼ予定通りの推移でしたが、Radixの会との産地研修など実施かないませんでした。**事務局65%**：HPに未着手であり、年度内4回予定の役員会のうち7月が台風の影響により中止されたことや、天災等プール金残などによります。

……活動の全体を総じて、当期は総会開催(前年実績5,766)がなかったことを差し引くと、収入支出ともに、ほぼ同様な活動規模で落ち着きそうです。一昨年より累計の新規入会者数はらでいっしょぼーや商品部のご協力を得て約50であり、退会があるものの会費収入は固定費、変動費共に前年に引き続いての増加を示しています。この傾向は新年度の収入見込みにも引き継がれます。次年度の会費収入構成は80%を超える見込みが成り立ちます。

支出の面では依然農産部会が堅調であり、前年比で予算枠を削減した中でも動員数が増加するなど、活動の実体が良い形で波及しているものと思われます。取り組むテーマもブロック活動の活性化により多様化してきました。畜産・食品の両部会は前年をわずかずつ超えたものの予算未達の構造は前年のままです。事務局の活動力、各部会でのリーダーシップ、テーマの再検討などを含めた、運営手法の再検討が必要と思われる

す。今年度新設の交流部会は、当面の目標を試験的に取り組みましたが、活動の基本が今年度で実体化することを期待したいと思います。

次世代に
信頼と夢をつなごう

……ゆるぎない信頼・ほっとする
楽しい安心・わかりやすく参加し
やすい仕組み……

■2002年度の総括

2002年は、引き続き食をめぐる数々の不信が露呈した年でした。聞き慣れなかった「トレーサビリティ」ということばが業界に定着し、食品産業全体への不信が対策へと転換しはじめたかにも見えますが、大手企業の廃業に至る道程を知らされる消費者は、その根本原因が利益のみを追求する企業の姿勢や構造の疲弊にあることを知らされ、より深い「安心」や「信頼」を求めています。

また、グローバリズムという言葉が定着し、中国はWTOに加盟、日本市場をターゲットにしたアグリビジネスが動きを早めています。呼応するように外資大手小売が日本に本格上陸、このことばを軸に新たな法整備も進んでいます。景気が低迷し消費が冷え込む中、熾烈な競争の舞台が迷うことなく着々と準備されています。

その一方、今年はスローフードという言葉や取り組みが流行のように語られました。地産地消の呼び声もにわかには活気を帯び、ある面こうした「出口の見えにくい」情勢のなか、希求する信頼のよりどころとして、社会が伝統や文化、地域を見直しは